

今回は **比良や霊仙・伊吹など関西近郊の冬山での事故について**

OWCC 中川和道 climber-nak@bca.bai.ne.jp

教育遭対部からのお題：比良 霊仙 伊吹 など関西近郊の冬山での事故について

- ・大阪府連の事故事例集には 比良 霊仙 伊吹 は十分な記述なし

↓

近郊の山の事故とは

- ・近郊の山の事故：**今 大きな大きな話題です**

コロナ明け 大きな山に行けない ∴ まず近郊の山から

↓

→ 高い山にはこれ以後に

近郊の山で起こりそうな事故を予測し、予防を考察する

1. 下山終了まぎわに アイゼンはずした → バス停近くで凍っていたが、すぐなので、そのまま歩いた → はげしく転んで骨折
  - パーティーで対策を話し合ってから行動する
  - チェーンアイゼンも持っていかか？

穂高でも 金剛山でも

2. 雨 雪 みぞれ にやられやすい → 低体温症が怖い

中川 藤原岳 荒島岳 でもやられた

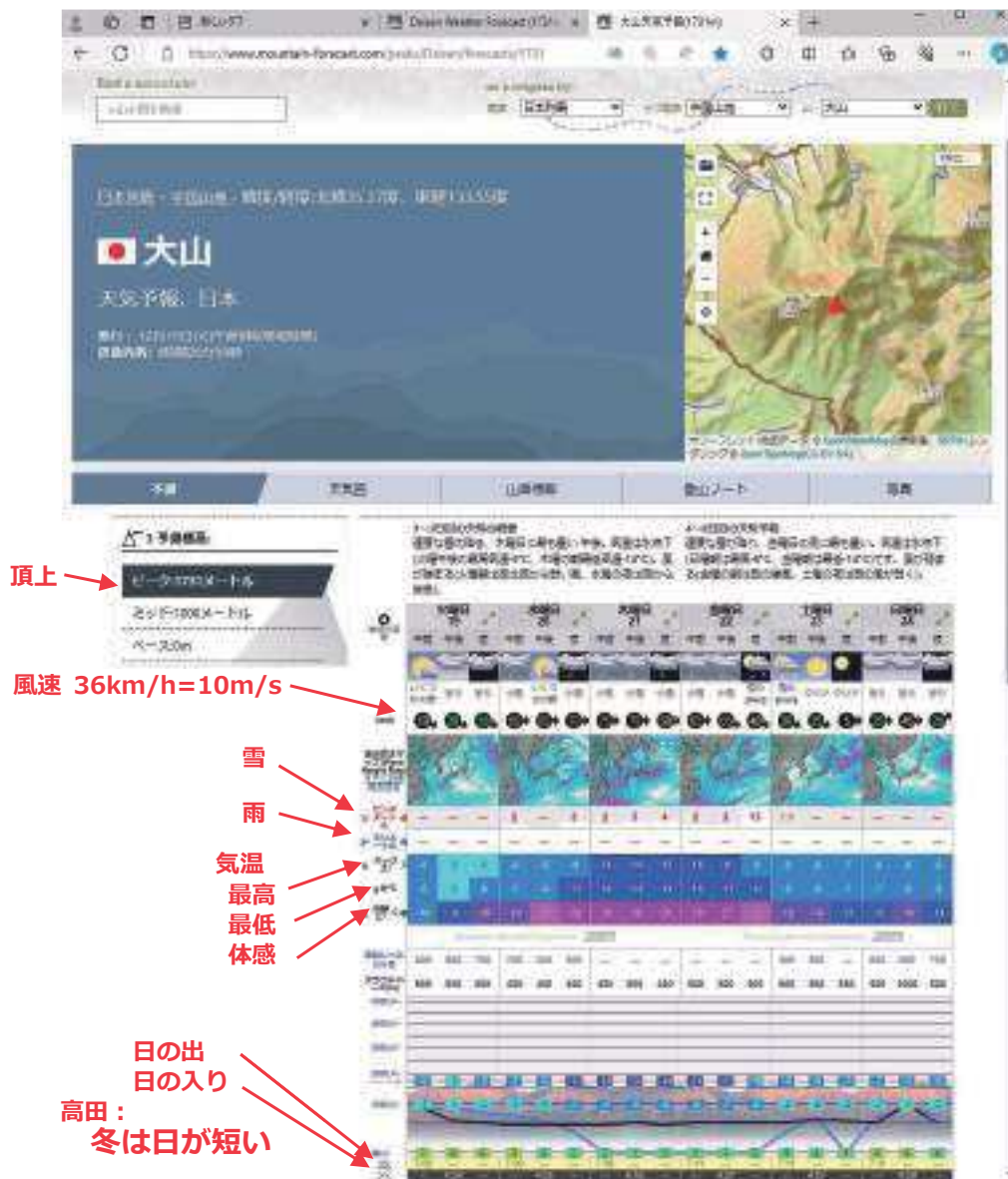
- ・ツェルトをかぶって火をたく
- ・そもそも 雨か みぞれか よんでおく

雨と雪の両方が分かる天気 Web サイト 高田さんからの教え

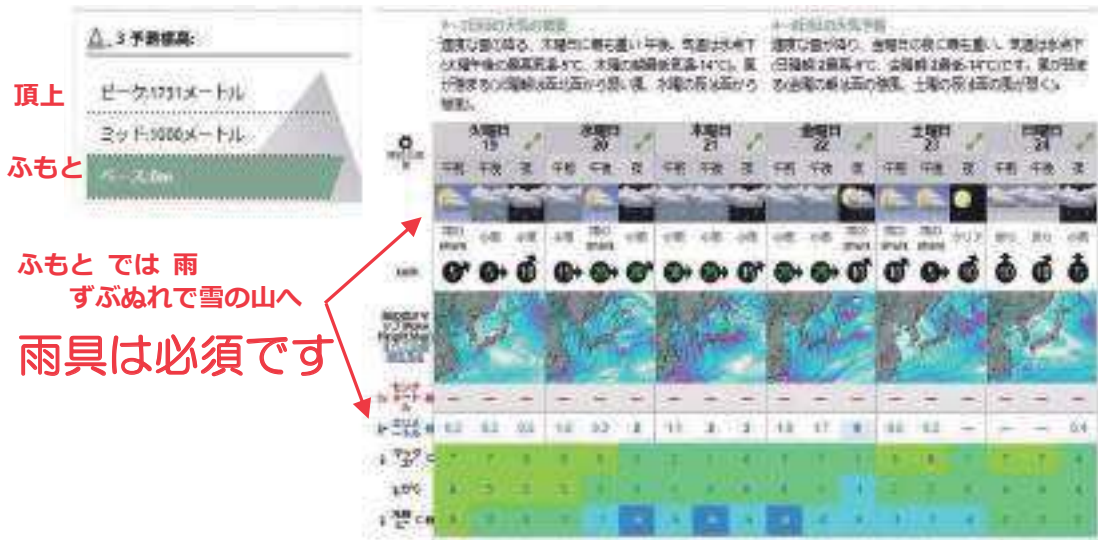
今も ヒマラヤでも

**Mountain Weather Forecast** を使おう

3. **Mountain Weather Forecast** で  
 で検索 **カッパ** か **ヤッケ**かを **決め**ましょう



落とし穴が **頂上は雪** だから **雨具**はいらぬか? と思いきや



3. 暖冬予報とは その心構え

猪熊隆之-飯田肇 の対談によれば

暖冬 = ドカ雪 = ゲリラ豪雪 ∵ 日本海海水温が高 → 多量の水が雪に  
ドカッと降る ー ただし すぐ解けて 農業には困る

4. 対策: ヤマテン を契約しましょう

330 円/1 ヶ月 = 4000 円/年 = 4 万円/10 年 vs 100 万円/ヘリ救助 1 件

5. 低い山 ふうなら 日帰り可能 ヘッドランプもたなくてもよいかな?

軽量化の功罪

モンベル辰野さん マッターホルン体験 ガイドが「雨具不要」とか  
ヘッドランプ 持ちましょう 理由: 足くじくなど 予定外のこと  
他人の事故を助ける羽目に  
御岳山噴火の教訓

もう ほかにないですか?

## 6. 遭難事例研究 レスキューの有料講座 ツェルトをかぶって低体温症を防ぐ

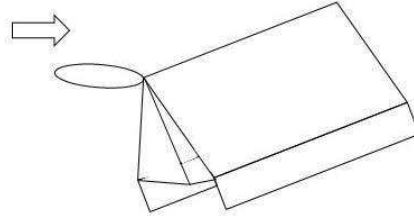
(1)必要になるもの(ツェルト、コップ、コンロ、防寒衣服など)は、

あらかじめ 取り出しやすいようにパッキングしておく

みろく山の会の経験を学ぼう

(2)リーダーは:

- ・ 風を背に立つ
- ・ ツェルトの飛び止めヒモを肩にかける→ツェルト展開
- ・ 入口：風上に 底：開く



(3)要救助者：風下に ザックに座って

もらう 着替えなど出しておくとい

(4)ツェルトをかぶって 2人とも中に入る 頭と頭でツェルトを支える

(5)火をたく

要救助者が震えはじめる 人間に戻る証拠 この時、足を急に激しく動かす

など、思いがけない行動の可能性が 火やお湯を蹴られないように

(6)夏の寒い雨(トムラウシ

2009/7/16)でも有効。

中川は12月の不帰岳の吹雪、2月の荒島岳のみ  
それぞれでやられた。

鈴鹿 藤原岳でも

(7)事前に練習を。失敗が

多いので。

(8)お金払って 500円

山の教室「遭難事例研究」

で学んで下さい



2022年11月15日 「遭難事例研究」の実技風景

7. ホッカイロを **3日間4日間**もたせる

海拔 2000m では気圧 800hPa→酸素量は 800/1013 = 80%に減る

$$20 \text{ hours} \times \frac{1013 \text{ hPa}}{800 \text{ hPa}} = 25 \text{ hours}$$

20 時間カイロ 25 時間もつ  
8 時間/日なら 3 日もつ

海拔 3000m では気圧 700hPa→酸素量は 700/1013 = 70%に減る

$$20 \text{ hours} \times \frac{1013 \text{ hPa}}{700 \text{ hPa}} = 29 \text{ hours}$$

20 時間カイロ 29 時間もつ  
8 時間/日で 4 日もたせる

それには、酸素を しゃだん して化学反  
応を停止させればよい。

貼るカイロはもともと半面 窒息。



酸素を遮断。ジップロックは失敗した。